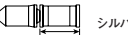



安全のために必ずお守りください。

警告

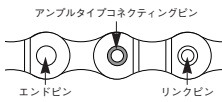
“メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄してください。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。”

- ST-M770/ST-M775デュアルコントロールレバーは変速操作とブレーキ操作を同じレバーで行います。ご自身の自転車のブレーキ操作と変速操作を十分理解し、慣れるようにしてください。操作方法はイラストをご参照ください。
- ブレーキ操作は必ずデュアルコントロールレバーで行ってください。補助リリースレバーでブレーキ操作を行うとレバーが破損して自転車のコントロールを失い、事故の恐れがあります。
- デュアルコントロールレバーの内部ユニットが破損した場合、レバーが通常のレバー位置から下がり、ブレーキ操作が難しい位置になる場合があります。その場合は速やかに走行を止めてください。
- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず表でご確認ください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと十分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。
- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所を切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所を切るとチェーンを損傷します。

| チェーン | アンブルタイプコネクティングピン | 工具 |
|---|--|-------------------|
| CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパージョーチェーン |  シルバー | TL-CN32 / TL-CN27 |
| CN-HG50 / CN-HG40 の様な8, 7, 6段対応 ナローチェーン |  ブラック | TL-CN32 / TL-CN27 |

チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。

- CN-7701、CN-HG93、CN-HG73シマノ製チェーンには9段用チェーンに対応するフロントチェーンホイールを使用してください。8段用あるいはそれ以下の段数に対応するフロントチェーンホイールに使用された場合、フロントチェーンホイールの変速不良やチェーンのピン抜けによるチェーン切れの原因になる恐れがあります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品を使用をお勧めします。ボルト、ナット等が緩んだり、製品が破損しますと、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。



使用上の注意

- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短すぎたりしていないかを確認してください。
- プリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がるさくなった場合は、プリーを交換してください。
- 車輪の回転が重くなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- 逆スプリングタイプ後変速機RD-M770はロー側より調整してください。
- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいので、ご使用できません。
- ギアは必ず同じグループ刻印のセットで使用し、別グループ刻印のギア板を組み合わせて使用しないでください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブルとブレーキケーブルがブレーキ操作時に互い干渉しないようにしてください。干渉しているとブレーキ操作に支障をきたします。ケーブルはハンドルをいっぱい操舵しても余裕がある長さにセットしてください。
- 変速ケーブル(SIS-SP41)には専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 円滑な操作のため、SIS-SPシールドケーブル、B.B.ガイドをご使用ください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- オイルディスクブレーキのブレーキ液の種類によってはブレーキ液が変速レバーの樹脂部分に付着した場合、樹脂部分に亀裂が入ったり変色する可能性がありますので、ブレーキ液が付着しないようにしてください。シマノディスクブレーキに使用されている鉱物油は樹脂部分に付着した場合に亀裂、変色の恐れはありませんが、ゴミ等の付着を予防する為にアルコールで洗浄してください。
- 補助解除レバーキャップ用固定ボルト(アルミ製)を補助解除レバーの固定には使用しないでください。
- 通常の使用において自然に生じた摩擦および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

SI-6MSRA-002

ご使用方法

リアドライブシステム

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

| シリーズ | XT |
|---------------|-------------------|
| デュアルコントロールレバー | ST-M770 / ST-M775 |
| アウターケーブル | SIS-SP41 |
| リアディレイラー | RD-M770 |
| タイプ | SGS / GS |
| フリーハブ | FH-M770 / FH-M775 |
| スピード | 9段 |
| カセットスプロケット | CS-M770 |
| チェーン | CN-HG93 |
| B.B.ガイド | SM-SP17 / SM-BT17 |

仕様

リアディレイラー

| モデルナンバー | RD-M770 | |
|------------|---------|-----|
| タイプ | SGS | GS |
| スピード | 9段 | |
| トータルキャパシティ | 45T | 33T |
| リア最大ギア | 34T | 34T |
| リア最小ギア | 11T | 11T |
| フロント歯数差 | 22T | 22T |

カセットスプロケット歯数構成

| モデルナンバー | グループ名 | スピード | 歯数構成 |
|---------|-------|------|-------------------------------------|
| CS-M770 | aq | 9段 | 11, 12, 14, 16, 18, 21, 24, 28, 32T |
| | as | 9段 | 11, 13, 15, 17, 20, 23, 26, 30, 34T |

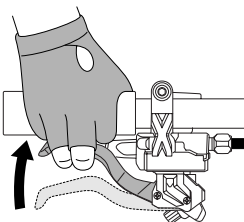
フリーハブ

| モデルナンバー | FH-M770 / FH-M775 | |
|---------|-------------------|--|
| スピード | 9段 | |
| スポーク穴数 | 36 / 32 / 28 | |

この説明書では、ST-M770/ST-M775デュアルコントロールレバーを逆スプリングタイプの後変速機RD-M770と組み合わせた場合の操作方法を説明しています。トップノーマル仕様の変速機RD-M771と組み合わせた場合は変速操作およびインジケーター表示は反対になります。

レバーの操作方法

■ ブレーキの操作方法



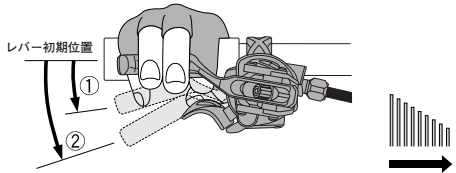
■ 変速操作方法

メインレバーによる解除もリリースレバーによる解除も操作と同時に素早い変速ができるインスタントリリース機構。1度の操作で2段変速が可能になったマルチリリース機構が備わったレバーです。

レバーは変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。レバー操作する時は必ずクランクを廻しながら行ってください。

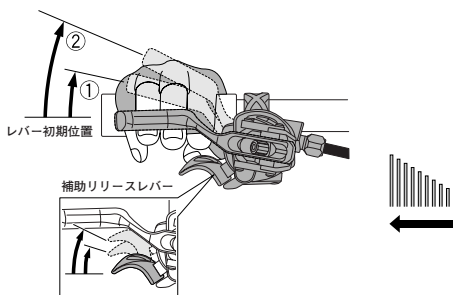
大ギアから小ギアへの変速

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。



小ギアから大ギアへの変速 (マルチリリース)

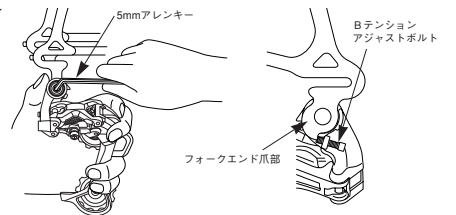
1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。最大2段分の一気変速まで可能です。



リアディレイラーの取付け

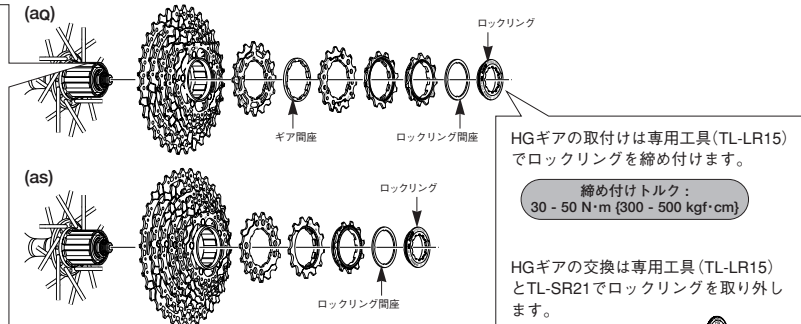
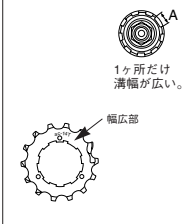
取付けの際、Bテンションアジャストボルトがフォークエンド爪部に当たって変形しないようにご注意ください。この時、プロセットアライメントブロックをはずさないでください。

ブラケット軸締め付けトルク:
8 - 10 N・m [80 - 100 kgf・cm]



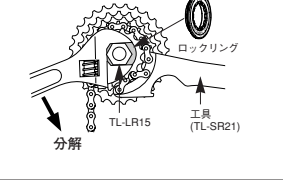
ギアの取付け

各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部(溝幅が広いところ)と各ギアの幅広部を合わせてセットします。



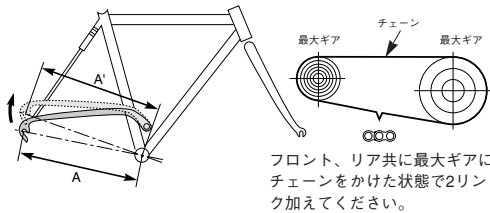
締め付けトルク:
30 - 50 N・m [300 - 500 kgf・cm]

HGギアの交換は専用工具(TL-LR15)とTL-SR21でロックリングを取り外します。



リアサスペンション付き自転車におけるチェーンの長さ

リアサスペンションが可動することにより、A寸法が変化します。このためチェーン長さが不足していると、駆動関係に異常な力が加わることがあります。チェーン長さは、リアサスペンションが可動してA寸法が最長に伸びたところで、チェーンを前後最大ギアに掛け、2リンク加えた長さに設定してください。リアサスペンションの可動量が大きい場合、フロント最小ギアとリアのトップ側ギアでチェーンの緩みが取れないことがあります。



レバー部の取付け

ハンドルグリップは最大外径がφ32mm以下のものをご使用ください。

締め付けトルク:
6 - 8 N・m [60 - 80 kgf・cm]

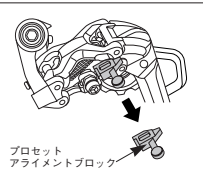
推奨締め付けトルクにおいても、カーボンフレーム/ハンドルの場合には、フレーム/ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはフレーム/ハンドルメーカーでご確認ください。

SISの調整

チェーンの取付け

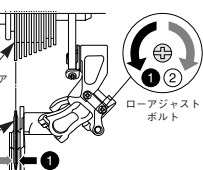
プロセットアライメントブロックをつけた状態でチェーンを取付けてください。取付け後プロセットアライメントブロックをはずしてください。

クランクをまわして、変速機をロー位置にセットしてください。



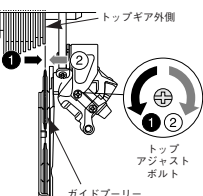
1. ロー側の調整

ガイドプリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。



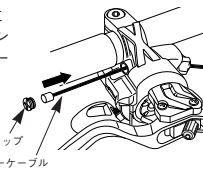
2. トップ側の調整

クランクを回しながら変速機を手でひっぱりトップ側に移動させ、後方から見て、ガイドプリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。クランクをまわして、変速機をロー位置にセットしてください。



3. インナーケーブルの取付と固定

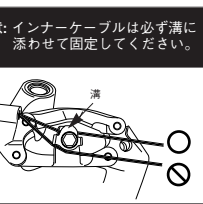
レバーを8回以上操作して、レバー位置をローの位置にセットします。インナータイコ穴キャップを外し、ケーブルを取付けます。



インナータイコ穴キャップを図のように止まるまで回して、取付けてください。これ以上回すと、キャップのネジみぞを破損します。



図のようにインナーケーブルを変速機に取付けてください。



インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおしてください。



締め付けトルク:
6 - 7 N・m [60 - 70 kgf・cm]

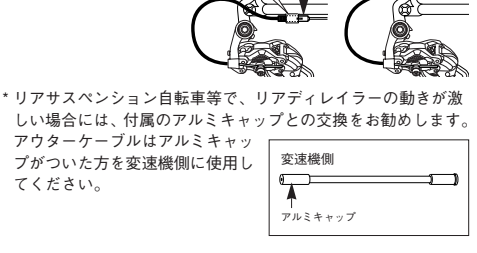
アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には、刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



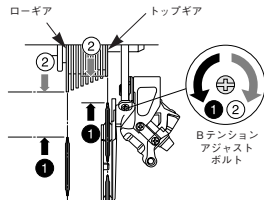
アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用して下さい。

ノーズ付シールドキャップ及びラバーブーツはフレームのアウターストップバーに取付けて下さい。



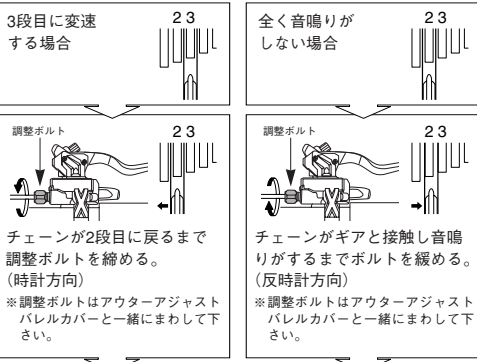
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンつまりしない位置までガイドプリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンつまりがないことを確認してください。



5. SISの調整

クランクを廻しながらレバーを操作して変速機をローギア位置にします。レバーを1回操作してリアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを廻してください。



ベストセッティング

レバーを操作しない状態で音鳴りがするまで調整ボルトを締め(時計方向)次にその時点より調整ボルトを90°-180度ゆるめる(反時計方向)

レバーを操作して変速し各段で音鳴りがしないことを確認してください。

SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

■FH-M770/M775の取扱い説明も合わせてお読みください。

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

* 取扱い説明書は下記にてご覧いただけます。
<http://techdocs.shimano.com>

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847
株式会社シマノ
堺市南区松崎3丁77番地 〒900-8577